

2023 年度（第 11 回）

学校関係者評価

学校法人 トヨタ神戸整備学園
専門学校

トヨタ神戸自動車大学校

【評価委員】

氏名(敬称略)	会社	部署・役職
小島 満	トヨタ自動車(株)	サービス部 統括室 総括・SI グループ
王丸 俊介	兵庫トヨタ自動車(株)	働き方変革室 人材開発グループ 次長
江原 克博	神戸トヨペット(株)	営業本部技術グループ 課長
原田 忠	トヨタ新大阪販売ホールディングス(株)	サービス本部 副部長
中川 幸士	ネッツトヨタ兵庫(株)	サービス営業部 係長

〔任期〕 2023年4月1日～ 2024年3月31日

【学校側出席者】

氏名	部署・役職	氏名	部署・役職
鈴木 二郎	理事・校長	杉原 徹	教育部 部長代理
山口 裕行	事務局長	満田 克昭	教育部 第1教育室 室長
秋山 史彦	総務部 部長	為則 宏樹	教育部 第2教育室 室長
北村 豪久	総務部 主務	長澤 哲也	教育部 第3教育室 室長
高井 裕介	学生部 室長	谷川 嘉夫	教育部 企画室 室長

<事務局> 北村 豪久 (総務部 主務) 乾 直也 (総務部)

【本日のスケジュール】

- 13:00～ 開会挨拶(鈴木校長)
- 13:05～ 委員紹介
- 13:10～ 評価の進め方説明
- 13:15～ 各委員より意見聴取・評価決定(途中休憩10分)
- 15:15～ 評価の総括(小島委員長)
- 15:20～ 閉会挨拶(山口事務局長)

目 次

基準1 理念・目的・育成人材像.....	6
【中項目】1-1 理念・目的・育成人材像	6
【中項目】1-2 学校の特徴	8
【中項目】1-3 学校の将来構想	10
基準2 学校運営	11
【中項目】2-2 運営方針	11
【中項目】2-3 事業計画	12
【中項目】2-4 運営組織	13
【中項目】2-5 人事・給与制度	14
【中項目】2-6 意思決定システム	16
【中項目】2-7 情報システム化	17
基準3 教育活動	19
【中項目】3-8 目標の設定	19
【中項目】3-9 教育方法・評価等	21
【中項目】3-10 成績評価・単位認定等	23
【中項目】3-11 資格・免許取得の指導体制	24
【中項目】3-12 教員・教員組織.....	26
基準4 学修成果	27

【中項目】4-13 就職率.....	27
【中項目】4-15 卒業生の社会的評価.....	31
基準5 学生支援	32
【中項目】5-16 就職等進路.....	32
【中項目】5-17 中途退学への対応	33
【中項目】5-18 学生相談	35
【中項目】5-19 学生生活	37
【中項目】5-20 保護者との連携.....	39
【中項目】5-21 卒業生・社会人.....	41
基準6 教育環境	43
【中項目】6-22 施設・設備等	43
【中項目】6-23 学外実習・インターンシップ等	45
【中項目】6-24 防災 (≒2018 防災・安全管理を分割)	46
【中項目】6-25 安全管理 (≒H30 防災・安全管理を分割)	47
基準7 学生の募集と受け入れ	48
【中項目】7-25 学生募集活動	48
【中項目】7-26 入学選考	50
【中項目】7-27 学納金.....	51
基準8 財務	52

【中項目】8-28 財務基盤	52
【中項目】8-29 予算・収支計画	54
【中項目】8-30 監査	55
【中項目】8-31 財務情報の公開	56
基準9 法令の遵守	57
【中項目】9-32 関係法令・設置基準等の遵守	57
【中項目】9-34 教育情報の公開	60
基準10 社会貢献・地域貢献	61
【中項目】10-35 社会貢献・地域貢献	61

基準 1 理念・目的・育成人材像

【中項目】1-1 理念・目的・育成人材像

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	学校運営の基本的な考え方を示すもので、明確に定める必要があり、外部にも周知を行う	<ul style="list-style-type: none"> ◆理念として、設立目的・教育目標・運営方針を定め、パンフレット・HPに掲載。 ◆育成人材像は教育目標の中で表現している。 ◆3つのポリシー（アドミッション、カリキュラム、ディプロマ）を定めそれに基づき推進している ◆新たに開設するエキスパートエンジニア科の3つのポリシーを設定した。 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンパスガイド、シラバス ・学校ホームページ ・学校案内パンフレット ・職員まるごとガイドブック
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	関連企業のニーズを把握し、それに沿った育成人材像の構築を行い、明確に定める	<ul style="list-style-type: none"> ◆学校設立時に関連企業のニーズも勘案した上で、教育目標の中で育成人材像を定めている。 	なし	

特記事項

理念

- 【目的】 21世紀の業界を背負って立つ人材の育成
業界の中核として将来は管理職、経営者の輩出
- 【教育目標】 「つねに時代をリードできるカーテクノロジーのエキスパート」になりうる基礎の修得
1. プロとして活躍できる技術を学び、技能を身につける
 2. 人から信頼される豊かな人間性を養う
 3. 時代とともに成長できる向上心を培う
- 【運営方針】
1. 楽しい学習
 2. 快適な学生生活
 3. 心の通う交流
- 【3つのポリシー】
- ・アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）
 - ・カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）
 - ・ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

最終更新日付	2023年 10月13日	記載責任者	教育部	満田
--------	--------------	-------	-----	----

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
<p>「◆新たに開設するエキスパートエンジニア科の3つのポリシーを設定した。」は、【3つのポリシー】・アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）・カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）・ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）とは異なるのか？</p>	<p>学科ごとに3つのポリシーを設定しているため、今回新たにエキスパートエンジニア科用のポリシーを設定しました。 ホームページ参照ください。 https://www.toyota-kobe.ac.jp/about/policy/#3policy</p>

【中項目】1-2 学校の特徴

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-2-1 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	トヨタ系企業への就職を軸に、即戦力となり得る人材育成に向け、充実した設備、教材、教育内容等を備える	<ul style="list-style-type: none"> ◆トヨタ自動車創立校として、トヨタ車を教材とし、高難度診断機器の取り扱いやハイブリッド車対応等に取り組んでいる。 ◆トヨタ販売店の技術教育（ステップ教育）に沿った教材・教科書を使って教育している。 ◆ビジネス演習室、高度診断機GTS+、HEV・PHEV・FCEV・BEV等を教材として配備、適宜更新を行っている。 ◆定期的に教員がトヨタ自動車の技術教育を受け、最新技術を教育に織り込んでいる。 ◆高度自動車科3、4年生を対象にトヨタ自動車からの技術講演を実施している。 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・レスンプラン ・カリキュラム ・資産棚卸しチェック表 ・教材管理マスター

特記事項

【主なトヨタの特色ある教材】

- ・高度診断機GTS+ 63台
- ・HEV 44台
- ・PHEV 4台
- ・FCEV 1台
- ・BEV 6台 (LQ)
- ・1NRエンジンベンチ 38台
- ・1KDエンジンベンチ 6台

【TMC技術講演】

- ・2023年度 「GAZOO RACING の取り組み」について

最終更新日付	2023年 10月17日	記載責任者	教育部	満田
--------	--------------	-------	-----	----

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
<p>高度自動車科3，4年生を対象にトヨタ自動車からの技術講演を実施している。⇒今までも実施していたが、何故、このタイミングで記載するのか？今までは、毎年、テーマが異なる。記載するなら講演に対する目的や主旨・基本的な考え方を明確にすべきでは？</p>	<p>昨年はコロナ禍が明けて技術講演会を再開したと記述しましたが、今年は以前の表現に戻しました。</p>
<p>販売店への就職率の高い自動車整備科でのHEV車やPHEV車を使用した実習時間が少なく対応力が低いように思えます。 また、GTS+の基本的な使用方法はもちろんですが、TGD対応車種を使用している簡単な故障診断など、どの程度の学習内容を検討されていますか？</p>	<p>自動車整備科のHEVに関する授業は、1年生24時限、2年生16時限実施。TEAM-GP G3や電気自動車整備の特別教育、点検整備方法など（詳細は口頭で説明）。 学校の環境ではガイドドダイアグを使用することができないため実施していません。GTS+での新たな機能として紹介するよう検討します。</p>
<p>診断機の台数が昨年69台→今年63台と減少していますが、なぜ減らされたのでしょうか？</p>	<p>昨年PC6台を更新した際に新旧のPCをダブルカウントしておりました。申し訳ございません。 24年度に12台追加する予定です（定期点検で使用）。必要教科で班に1台の配備となります。</p>

【中項目】1-3 学校の将来構想

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-3-1 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	中期的構想で、3～5年先における学校のあるべき姿を明確にしていく	◆中期経営計画を策定し、年度事業計画に反映している。環境変化を踏まえ23～27年度の学生数・収支計画を見直した。	・昨今の社会環境の変化を踏まえて、定期的に中期計画の修正を行う。	「トヨタ神戸自動車大学校中期計画」（2020～25年）

特記事項

- ・日本人の整備士志望者減少に伴い整備士輩出人数確保のため学科定員変更を行った。
2024年度生より自動車整備科：130名⇒100名、国際自動車整備科：80名⇒110名
(高度科：100名、EE科：40名、SS科：20名は変更なし)

最終更新日付

2023年 10月13日

記載責任者

教育・総務・学生部

鈴木・杉原・秋山・高井

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
「・・・定期的に中期計画の修正を行う。」⇒定期的の頻度は？	「・・・中期計画を毎年見直し、適宜、修正を行う。」と変更します。
過去入学実績と比較しましても2024年度の国際科定員110名は多いように思うのですが、見込みはあるのでしょうか？	1月末時点で入学予定者は102名、残り3回の入試で110名は確保できる見込みです。

基準 2 学校運営

【中項目】2-2 運営方針

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	教育活動、学校運営の根幹となる設立目的・教育目標とともに運営方針を定め、全教職員に周知、浸透を図る	◆設立目的・教育目標とともに運営方針・取組姿勢を定め、学内 HP に掲載する等全教職員に周知し、毎年教育活動、学校運営を行っている。	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・学内 HP ・キャンパスガイド ・職員まるごとがっくブック

特記事項

【運営方針】

1. 楽しい学習
2. 快適な学生生活
3. 心の通う交流

【取組姿勢】

1. 職員各人および各課、各G、各部が、さらには学校全体として不断の改善を推進
2. 職員各人プロフェッショナルとして、また真に配慮の行き届く組織として方針を展開

最終更新日付	2023年 10月13日	記載責任者	教育部	満田
--------	--------------	-------	-----	----

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
「学内 HP に掲載する等全教職員に周知し」⇒学内 HP に掲載することが全教職員に周知することになるのでしょうか？HP 掲載以外に実施していることがあれば教えてください。	毎年、年初や年度初めの校長講話では、全職員に運営方針に基づいた指針を説明。 また、教育部方針はこの運営方針をもとに活動指針を定め明記しています。

【中項目】2-3 事業計画

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度事業計画を策定し、理事会・評議員会の承認を経て執行する。 ・事業計画を達成するために各部方針を定め、業務分担、目標等を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆3月の理事会・評議員会にて翌年度の事業計画、5月の理事会・評議員会にて前年度の事業報告について承認を得ている。 ◆事業計画に基づいて部方針を策定し、項目毎に主担当、スケジュール、達成目標を定めて推進している。 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書 ・予算書 ・部・室方針 ・設備・教材更新予定表 ・「学生数・経常収支見込」

特記事項

最終更新日付	2023年 10月12日	記載責任者	総務部	秋山/北村
--------	--------------	-------	-----	-------

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
特になし	特になし

【中項目】2-4 運営組織

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	寄付行為に基づき理事会・評議員会を開催し、組織運営に関して適切に審議・承認を行い円滑に法人・学校の組織運営を行う。	◆寄付行為に基づき理事会・評議員会を年2回定期開催（3月：事業計画・予算、5月：事業報告・決算）し、さらに必要な場合は臨時開催している。	なし	・寄付行為、りんぎ規程、 ・理事会・評議員会議事録 ・理事・監事・評議員名簿 ・理事会の権限移譲に関する規則
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	業務分担、職制が明確な組織体制で円滑な学校運営を行う。	◆校長の下に教育部・学生部・総務部の3部において学校運営を行っている。 ◆課題に応じて個別プロジェクトを設置し対応している。	なし	・組織図 ・部方針

特記事項

- ・定例理事会・評議員会：（3月）事業計画・予算、（5月）事業報告・決算
- ・学校ガバナンス強化の為、監事を1名追加（2022年度）

最終更新日付	2023年 10月12日	記載責任者	総務部	秋山/北村
--------	--------------	-------	-----	-------

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
特になし	特になし

【中項目】2-5 人事・給与制度

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	<ul style="list-style-type: none"> 人事・給与については就業規則・給与規則、それに沿った内規を定め運用する。 採用・人事考課・昇級・昇給については規則・内規に従って運用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆就業規則・給与規則他規程を定め運用している。また、労働関係諸法令の改正対応も適宜行っている。 ◆人事考課・昇級・昇給等人事制度は規則・内規に基づき毎年定期的の実施している。 ◆採用は中期的な要員計画に基づき、定期的な若干名の採用（教員）を行っている。 ◆定着促進を目指し、23年度に給与制度の改定を行った。 	60歳以降の働き方についての制度見直し	<ul style="list-style-type: none"> 就業規則 給与規則 満55歳に到達した職員の取り扱い規則 採用決裁書 求人票

特記事項

- 給与規則の別紙に職能基準給、職能個人給基礎額、年齢給テーブル設定している
- 新卒採用は、2024：なし、2023：2名、2022：1名、2021：なし、2020：2名
- キャリア採用は、2023：1名、2022：4名、2021：8名、2020：1名、2019：なし
- 定年後の定着（過去5年間の定年退職者8名中2名継続雇用）*寮監除く

最終更新日付	2023年 10月12日	記載責任者	総務部	秋山/北村
--------	--------------	-------	-----	-------

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
<p>「◆定着促進を目指し、23年度に給与制度の改定を行った。」とは、“定年後の定着”のことですか？（“採用定着”についての改定は？）</p> <p>「60歳以降の働き方についての制度見直し」とは、従来制度に何か問題があったのでしょうか？また、今後は再雇用を促進する方向でしょうか？（本人の希望によると思います）</p>	<p>定着については若年層から中堅層に向けてです。定年を機に退職してしまうのが課題です。</p>
<p>60歳定年以降の定着について、働き方の制度見直しを解決方法として挙げられていますが、具体的な方向性についてご教授下さい。過去5年間の実績を見る限り25%の継続雇用に留まっており、教員としてのノウハウを存分に活かせるキャリアマップが描かれているか疑問に感じます。</p> <p>定年以降の雇用も重要と考えますが、新卒採用・キャリア採用の人材の定着という面でも課題が残っているように思われます。状況をご教示ください。</p> <p>また、ペアの教員の選定や新任教員への業務負荷など、新任教員やキャリア採用教員への業務の見直しはどの程度検討されていますか？</p>	<p>公務員の65歳定年制導入を踏まえ当校も中期的には65歳定年制に向けた制度変更を検討しています。具体的には契約期間を1年更新から複数年契約に変更。処遇の見直し、働き方の見直しの検討を進めています。</p> <p>直近5年で25人採用中4人退職しております。定年以外の退職率は3%未満を目指して進めていきます。</p>
<p>過去5年定年退職者8名中2名のみ継続雇用は少なすぎるように思います。全員が継続を望むような働き方についての制度見直しをお願いしたいと思います。</p>	<p>担任制度の見直しも含めて授業の教員体制の見直しを進めています。</p>

【中項目】2-6 意思決定システム

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	<ul style="list-style-type: none"> 意志決定の最高機関である理事会及び「権限移譲に関する規定」に基づき意思決定を行う。 寄付行為、りんぎ規定で基準を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆2回/年定例の理事会を開催し事業計画・予算、事業報告・決算等の承認を得ており、必要な場合は随時開催している。また、「権限移譲に関する規定」に基づき理事会の他理事長、校長が委任された事項の意思決定を行っている。 ◆寄付行為、りんぎ規定を定め運用している。 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・寄付行為、りんぎ規程 ・理事会の権限移譲に関する規則 ・物品購入・経費支払いに関するりんぎ・決裁起案の基準について ・理事会議事録 ・りんぎ書ファイル

特記事項

最終更新日付	2023年 10月12日	記載責任者	総務部	秋山/北村
--------	--------------	-------	-----	-------

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
特になし	特になし

【中項目】2-7 情報システム化

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-7-1 ICT化により業務の効率化、教育の充実、学生募集の充実を図っているか	<ul style="list-style-type: none"> 各業務のICT化は費用対効果を考えて実施する。 最新のICT技術を積極的に取り入れ、業務・教育の充実を図る。 	<p><法人業務関係></p> <ul style="list-style-type: none"> ICT技術を取り入れ学内でのキャッシュレス化推進に取り組んでいる。 <p><教育関係></p> <ul style="list-style-type: none"> 2021年度新入生よりタブレットPCを個人所有させ、教育および学生連絡ツールとして活用している。 学生ポータルサイトから、オンラインで企業情報閲覧や就職希望調査などが行えるようにしている。 学生のタブレットPC所有に合わせて、学科棟・実習棟にWi-Fi通信環境を充実させた。 <p><学生募集関係></p> <ul style="list-style-type: none"> 入学検討者への説明の際にタブレットPCを使用し説明内容の充実、均一化を図っている。また、入学検討者の情報を個別管理し、来校時の個別相談に活用している。 募集システムを更新し、メールやSNSで一斉送信や個別アプローチ、フォロー活動にも活用している。 	<p><教育関係></p> <ul style="list-style-type: none"> 教務システムのセキュリティおよび信頼性向上のため、2022年度から引き続き、システム更新の検討を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> システム概要 システム構成図
2-7-2 情報システムのセキュリティ対策を行っているか	<ul style="list-style-type: none"> システムセキュリティポリシー・マニュアルを定め対策を行う。また、システム担当者に対して遵守を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> システムセキュリティポリシー・マニュアルに基づき主に以下の対策を講じている。 <ul style="list-style-type: none"> アクセス制限、バックアップ、ウィルス対策、ログ監視、デバイス利用制限等 セキュアな環境でリモートワークが実施できている。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員の業務効率化の為利便性を図りながらもセキュリティ対策を確実に講じる 	<ul style="list-style-type: none"> システムセキュリティポリシー システムセキュリティマニュアル

特記事項

現状使用システム
 〈教育関係〉・スクールリーダー
 〈募集関係〉・インフォクラウド
 〈法人業務関係〉・Leyser（会計）／ 勤次郎（勤怠）／ SmileV（人事、給与）

最終更新日付	2023年10月10日	記載責任者	教育部	谷川
	2023年10月17日		学生部	高井
	2023年10月12日		総務部	秋山/北村

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
<p>「◆セキュアな環境でリモートワークが実施できている。」リモートワークでは、リモート先の環境や端末のセキュリティーも関係があると思いますが、新たに取り組んだことなどはありますか？</p>	<p>リモートビューワーは問題なし。チームズ等の利用に関する制限を行う。 外部からのアクセスができるデバイスの制限を行えるソフトに変更しました。</p>
<p>「セキュアな環境でリモートワークが実施」とは恐らく教職員の方が対象だと思われませんが、学生のイントラに関してはいかがでしょうか。イントラで学生名簿や機密情報が確認出来るようにはなっていませんか。</p>	<p>学生用のイントラは高度自動車科で使用しているファイルサーバーのみ存在しますが、研究データなどを保存する目的で使用しており、個人情報や機密情報は保存していません。</p>

基準3 教育活動

【中項目】3-8 目標の設定

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-8-1 育成人材像に沿って具体的な目標が設定できているか	・各学科ともに育成人材像に相応しい目標を設定し、提示できている。	◆各学科の目標は「目標人材像」として設定し提示している。	なし	・育成ビジョン

特記事項

【目標人材像】

<高度自動車科>

1. 自動車技術／整備技能に加え、幅広い業務知識・教養を身に付けている
2. 自ら課題を発見・探求・解決する力、自らの考えを表現する力を備えている
3. 自律心・向上心・信頼感に溢れ、的確なリーダーシップを発揮できる

<エキスパートエンジニア科>

1. 幅広く実践的な自動車整備の技術／技能と、接客の基本・業務知識を身に付けている
2. 常に興味と探求心を持ち、自ら積極的に行動できる力を備えている
3. 向上心・責任感に溢れ、確かな信頼感・協調性を備えている

<自動車整備・車体整備科>

1. 自動車整備の技術/技能とともに、接客の基本・業務知識を身に付けている
2. 自らの役割を認識し、自ら考え、行動できる力を備えている
3. 向上心・責任感に溢れ、確かな信頼感・協調性を備えている
4. 一般整備に加え、溶接・板金・塗装などの幅広い知識・技術を身に付け、技能を有している

<自動車整備科>

1. 自動車整備の技術／技能とともに、接客の基本・業務知識を身に付けている
2. 自らの役割を認識し、自ら判断、実践できる力を備えている
3. 向上心・責任感に溢れ、確かな信頼感・協調性を備えている

<国際自動車整備科>

1. 日本で働く上で必要な日本語力を身に付けている
2. 自動車整備の技術／技能とともに、接客の基本・業務知識を身に付けている
3. 自らの役割を認識し、自ら判断、実践できる力を備えている
4. 向上心・責任感に溢れ、確かな信頼感・協調性を備えている

<ショールームスタッフ科>

1. サービス・営業に通用する幅広い自動車の知識・技術を身に付けている
2. ホスピタリティ溢れる接客対応力を備えている
3. 人から信頼される豊かな教養・人間性を備えている

最終更新日付	2023年10月12日	記載責任者	教育部	長澤
--------	-------------	-------	-----	----

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
<p>「自らの役割を認識し、自ら考え、行動できる力を備えている」「自らの役割を認識し、自ら判断、実践できる力を備えている」違いはありますか？ 「目標人材像の提示」はどのような形で行われていますか。</p>	<p>学内で高度自動車科の目標を表現する際に「自ら考え自ら行動できる」というフレーズを使用しているため、自動車整備科では「自ら考える」幅を少し狭めた表現として「自ら判断、実践できる力」に変更しました。 各学科のシラバスに記載、入学時（高度科は3年進級時）のオリエンテーションで学生へ説明。</p>
<p>“自ら判断、実践できる力”とありますが、どのような教育方法か？参考にさせていただきます。 最近のエンジニアは、「指示に対して行動」するが、意味を「理解」しておらず、「ただ単に言われたことをこなしている」、「それ以上のことが出来ない」ように感じます。結果、整備ミスにつながるケースが増えてきています。要は“自ら考え判断、実践”できる者が減少していると感じます。</p>	<p>作業に取り掛かる前に、作業の意味合いや注意点を考える時間を設けています。</p>
<p>新設のエキスパートエンジニア科について、幅広く実践的な自動車整備の技術／技能と、接客の基本・業務知識について、実践的な自動車整備技術や接客知識についてどの程度のものを想定されていますか？また、実践的な教育を行う教員のスキルの確保についてどのように計画されていますか？ 販売店への就職を視野に入れているものとお見受けしますが、自動車整備科との具体的な違い等をご教示ください。</p>	<p>技術技能については、自整科では行わない板金塗装、重整備、多種多様（2輪、四駆、BEV等）の車を整備することによる多様な整備に対応出来る力、トヨタ検定2級レベルの新技术・新機構の知識を想定しています。 接客の基本・業務知識については受付や作業説明のロープレ、ai21やTECSETの取扱いを想定しています。 教員のスキル確保については販売店経験者を主とし、プロジェクトリーダーから担当する教員に対しレッスンプランを展開し、授業開始までに実際の実務を講習する予定です。</p>
<p>目標人材像について自動車整備科、国際自動車整備科で「自ら判断、実践できる力」に変更した意図をお聞かせ願います。</p>	<p>上記の回答と同様。</p>

【中項目】3-9 教育方法・評価等

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	目標人材像の育成に向けた教育課程を編成する	<ul style="list-style-type: none"> ◆教育課程は目標人材像の育成に向けて編成している。 ◆教育課程は社会のニーズや技術の進化を踏まえて、適宜見直しを行っている。 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム ・レッスンプラン
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	社会環境の変化に対応するため、定期的に外部の意見を聴取し、教育課程の改善に取り組む	◆理事会・評議員会、教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会で外部の意見をいただき毎年反映させている。	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会・評議員会議事録 ・教育課程編成委員会議事録 ・学校関係者評価委員会議事録
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	自動車業界・販売会社で仕事をするために身に付けておくべき知識・能力を養う教育をしている。	◆各学科、年次に合わせたキャリア教育を実施している。	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・レッスンプラン ・カリキュラム ・インターンシップ報告書
3-9-4 授業評価を実施しているか	学生アンケートを定期的に行い、授業及び学生指導の改善を図る	◆学生アンケートを2回/年実施 8月と12月に授業評価をまとめ、改善に努めている。個々の教員へも行動に繋がられる評価シートを活用し改善を図っている。	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・学生アンケート ・学生アンケート報告書 ・評価シート ・評価シート報告書

特記事項

<各学科のキャリア教育内容>

- ・自動車整備科、国際自動車整備科
 - 1年（国2年）「就職に関する基礎知識 ～就職前に知っておくこと～」 「企業が求める人材像」
 - 2年（国3年）「社会人に求められるコミュニケーション」 「会社組織とキャリアステップ」 「インターンシップ」
- ・高度自動車科
 - 1年 「就職に関する基礎知識 ～就職前に知っておくこと～」
 - 2年 「社会人に求められるコミュニケーション」 「会社組織とキャリアステップ」
 - 3年 「自動車業界の各職種理解」 「卒業生からの講話」 「企業が求める人材像」
 - 4年 「インターンシップ」
- ・ショールームスタッフ科
 - 1年 「接客マナー・おもてなし」 「職場見学」 「キャリアデザイン・ライフプラン」
 - 2年 「インターンシップ」
- ・自動車整備・車体整備科
 - 1年 「就職に関する基礎知識 ～就職前に知っておくこと～」 「企業が求める人材像」
 - 2年 「社会人に求められるコミュニケーション」 「会社組織とキャリアステップ」
 - 3年 「B P工場見学」 「インターンシップ」

最終更新日付	2023年10月12日	記載責任者	教育部	長澤
--------	-------------	-------	-----	----

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
<p>「会社組織とキャリアステップ」「キャリアデザイン・ライフプラン」とSS科のみ標題（内容）が違うのはなぜですか。</p>	<p>SS科「キャリアデザイン」 入学後早期にショールームスタッフの業務を知る、自分のキャリアビジョンや2年後の自分の姿を考える 「ライフプラン」 イメージコラージュを活用して3年後、7年後、10年後の自分の未来を考える（プライベート含む）</p>

【中項目】3-10 成績評価・単位認定等

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	「履修成績評価基準」「修了判定要領」「成績評価（ランク）」についての基準を明確化し、適切に運用する	<ul style="list-style-type: none"> ◆成績評価は「修得試験結果および平常点」で行っている。 ◆修了認定は「全科目の修得試験に合格していること」を学則に明記し、認定会議で決定している。 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・学則 ・シラバス ・履修成績評価基準（内規） ・修了判定要領（内規） ・成績評価（内規） ・成績一覧表 ・進級・卒業認定会議資料
3-10-2 作品及び技術等の発表を評価しているか	在校生の製作物・発表会を評価する仕組みがある。	<ul style="list-style-type: none"> ◆高度自動車科は研究授業の成果を発表させ、成績評価している。 ◆ショールームスタッフ科は、接客対応ロープレ、アートワーカー、POP、ペン字の発表・製作について評価軸を定め成績評価している。2年卒業前には、お客様対応発表会を実施し、成績評価している。 ◆自動車整備・車体整備科3年次は、板金・塗装授業での製作物について評価軸を定め成績評価している。 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・成績一覧表 ・研究授業評価シート ・作品評価シート（SS、BP）

特記事項

--

最終更新日付	2023年10月12日	記載責任者	教育部	長澤
--------	-------------	-------	-----	----

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
特になし	特になし

【中項目】3-11 資格・免許取得の指導体制

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-1 目標とする資格は、教育課程上で、明確に位置づけているか	目標とする資格が着実に取得できる教育課程となっている。	◆各学科とも目標とする資格を取得する教育課程をつくり実施している。	・トヨタの資格制度の変更まで、トヨタ検定B・P・Eの資格取得について目標資格を継続とする	・教育課程一覧表 ・授業ガイド ・シラバス
3-11-2 資格取得の指導体制はあるか	各資格の教育において、レシンプランを備え、十分な知識・技能を持った教員が担当している。	◆各資格とも、有資格者もしくはそれに相当する知識・技能を持った教員がレシンプランを基に教育している。	なし	・レシンプラン ・授業ガイド ・シラバス ・教員スキルマップ

特記事項

目標とする資格

<自動車整備科>

国家2級自動車整備士 トヨタ技術検定3級 電気自動車等の整備業務に係る特別教育

<高度自動車科>

国家1級自動車整備士 トヨタ技術検定2級/エステイメーション検定3級
トヨタ業務認定D級 電気自動車等の整備業務に係る特別教育
ビジネス能力検定2級 文章能力検定準2級 タイヤ空気充填特別教育修了

<ショールームスタッフ科>

国家3級自動車整備士 トヨタ技術検定4級/エステイメーション検定3級
損害保険募集人資格 トヨタ業務認定D級 サービス接遇検定2級
マイクロソフトオフィススペシャリスト (MOS) 検定 漢字能力検定

<自動車整備・車体整備科>

国家2級自動車整備士 トヨタ技術検定3級 電気自動車等の整備業務に係る特別教育
国家自動車車体整備士 電子制御装置整備の整備主任者資格
トヨタ技術検定 ボデー3級/ペイント3級/エステイメーション3級
アーク溶接特別教育修了 有機溶剤作業主任者 タイヤ空気充填特別教育修了

<国際自動車整備科>

日本語能力検定N2
国家2級自動車整備士 トヨタ技術検定3級 電気自動車等の整備業務に係る特別教育

最終更新日付	2023年10月12日	記載責任者	教育部	長澤
--------	-------------	-------	-----	----

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
<p>授業で車両を動かす事はありませんか（普通免許取得の斡旋等をお願いしたい）。</p> <p>安全運転講習等はカリキュラムにはありますか？（SS科は富士モビリティがそれにあたるのでしょうか）</p>	<p>実習場内で車両を運転することはありません。（走行体験は免許取得者のみが実施）</p> <p>安全運転講習は全学科では実施しておらず、SS科は富士モビリティ、高度科は3年次に県内教習所で安全運転講習を実施しています。</p>
<p>新制度となった業務認定等資格取得についての検討状況はいかがでしょう？</p> <p>就職先の販売店毎に様々な考え方があると思われ、求められるレベルを鑑みると学生のうちに必ずしも取得が必要ではないようにも思われます。</p>	<p>高度科、SS科とも継続して取得予定です。</p>
<p>「タイヤ空気充填特別教育」については過去遡ると2021年度は高度自動車科にも記載がありましたが2022年2023年と“特記事項”に記載がないのはなぜでしょうか？</p> <p>また、過去にも意見あったと思いますが自動車整備科での受講も検討頂きたいと思えます。</p>	<p>2022年度以降も取得しています。記載が漏れておりました。</p> <p>自動車整備科での受講は選択制で実施いたします。</p>

【中項目】3-12 教員・教員組織

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	一種養成施設指定基準の教員要件を満足している教員が授業を実施している	◆学校採用教員およびトヨタ販売店からの出向教員により、必要人員数およびその資格を満足している。	なし	・一種養成施設指定基準 ・組織図 ・教育を行うものの名簿
3-12-2 教員の資質向上への取り組みを行っているか	教員としてふさわしい知識・技能・技術・教養の向上ができるよう定期的な研修を行うと同時に自己啓発に取り組む	◆新技術理解のため、トヨタ自動車技術講習などを受講し、全教員に展開している。 ◆夏休み・春休みを利用して学生指導力向上のための研修も継続的に実施している。 ◆入社後一定年次に、販売店サービス現場での研修、JAMCA 教職員研修を実施している。 ◆教員個人との期首面談時に、自己啓発の取り組み計画を確認しながら進めている。	なし	・研修報告書 ・兵専各研修者名簿
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	教員組織において、業務分担や責任体制は規程等で明確にしている	◆部の下に学年ごとの教育室を設け、学年内で連携した教育実務を行いやすい体制を構築している。 ・業務分担は業務分担表にて明確に定めている。 ・責任体制は、職位に応じた決裁基準を設けている。	なし	・組織図 ・管理職マニュアル ・業務分担表

特記事項

2023 年度 教員研修実績（抜粋）
 6月 教員向け話し方講座
 8月 JAMCA 教職員研修
 8月 教職員研修会（電子スロットルとフェールセーフについて）
 8月 トヨタ自動車エンジニアリーダー研修（電動車）

最終更新日付	2023 年 10 月 10 日	記載責任者	教育部	谷川
--------	------------------	-------	-----	----

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
特になし	特になし

基準 4 学修成果

【中項目】4-13 就職率

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-13-1 就職率の向上が図られているか	就職率 100%に向け、学生への就職活動支援を充実させる	<p>◆就職率 100%に向け、以下の内容に取り組んでいる。</p> <p>①就職対策講座の実施 ②企業採用担当者およびサービス分野の役職者による講演の実施 ③夏休み企業訪問の推進 ④企業研究セミナーの催行による就職先研究 ⑤就職活動個別支援</p>	<p>・就職意欲が低く、社会人としてのマナーや行動が伴わない学生の不合格事例が数件あった。就職意欲の低い学生への個別支援を見直す。</p>	<p>・年度別就職実績 ・企業別求人数・受験・内定状況</p>

特記事項

- ◆就職率（卒業年度）
 - ・2020年度 高度科 100% 車体科 100% 自整科 100% S S科 100%
 - ・2021年度 高度科 100% 車体科 100% 自整科 100% S S科 100%
 - ・2022年度 高度科 100% 車体科 96.3% 自整科 100% 国際科 100% S S科 100%
 - ・2023年度（内定率） 高度科 100% 車体科 100% 自整科 98.0% 国際科 98.6% S S科 100%
- ◆トヨタグループへの就職率（卒業年度）
 - ・2020年度 93.4%、2021年度 92.8%、2022年度 95.4%、2023年度（内定率） 94.7%
- ◆留学生の国内就職状況（卒業年度）
 - ・2021年度 国内就職者 13名（第1希望内定率 92.3%）
 - ・2022年度 国内就職者 61名（第1希望内定率 93.4%）
 - ・2023年度 国内就職者 94名（第1希望内定率 93.6%）
 - ・2024年度 国内就職希望者 48名

最終更新日付	2023年10月10日	記載責任者	教育部	谷川
--------	-------------	-------	-----	----

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
<p>国際科＝留学生 でしょうか？ 就職意欲が低い理由は何ですか？分析と対策は？</p>	<p>国際科以外の留学生も含みます。 2024.3 卒の就職希望者約 280 名のうち 3 名が該当します。 本人の性格等による部分も大きく対策がなかなか難しいのが実情です。</p>
<p>2023 年度内定率について。自整科の 2 %、国際科 1.4%はどうされたのでしょうか？</p>	<p>1 月末時点で、全学科 100%内定しております。</p>
<p>3－8にある“自ら判断、実践できる”につながると思います。</p> <p>自整科内定率が 100%に達しない状況に対し、就職意欲が低く、社会人としてのマナーや行動が伴わない学生への個別支援の見直しはどのように計画されていますか？単に就職試験に合格できるための支援を行うと、結果的に就職後の早期離職への懸念があります。</p> <p>今年度より会社説明会への参加時期も後ろ倒しとなっており、就職への心持ちを形成する上で時間制約がよりシビアになると予想されます。短期間で効果を出す上でどのような対策をお考えでしょうか？</p>	<p>就職意欲が低い学生にはそれが高まる指導をしてから受けさせるように見直しています。</p> <p>また、24 年度の企業研究セミナーは、11 月から 9 月へ前倒しし出身県の全トヨタ販売会社を必須参加するよう変更いたします。</p>

【中項目】4-14 資格・免許の取得率

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-14-1 資格取得率の向上が図られているか	自動車整備士国家資格をはじめとして、業界の社会人として必要な資格の取得率向上に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ◆国家1級資格は試験結果の分析から次年度の対策授業の進め方を改善し100%合格を目指している。その他の国家資格は取得率100%を達成。 ◆トヨタ技術検定2, 3, 4級、BP/エステイメーション3級、業務認定D級は100%取得している。 ◆上記以外の資格試験も試験結果の分析から次年度の対策授業の進め方を改善している。 	・引き続き国家1級資格100%合格	・各資格試験結果報告書

特記事項

国家資格取得率

- ・2018年度 1級自動車整備士 89.4% 2級自動車整備士 100%
- ・2019年度 1級自動車整備士 98.8% 2級自動車整備士 100% 車体整備士 100%
- ・2020年度 1級自動車整備士 100% 2級自動車整備士 100% 3級自動車整備士 100% 車体整備士 100%
- ・2021年度 1級自動車整備士 91.6% 2級自動車整備士 100% 3級自動車整備士 100% 車体整備士 100%
- ・2022年度 1級自動車整備士 98.7% 2級自動車整備士 100% 3級自動車整備士 100% 車体整備士 100%

最終更新日付	2023年10月12日	記載責任者	教育部	長澤
--------	-------------	-------	-----	----

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
<p>特にトヨタ検定など学内のカリキュラム中で取得させる資格については、「真の理解」と「個人のレベル」に合わせた資格付与をお願いしたい。</p> <p>例えば、TEAM-GP の G3 認定に際して e ラーニング教材の学習の履修完了条件は免除していると聞いていますが、トヨタ系販社入社後 G1 取得を目指すにあたり、知識習得が充分ではない状態で G3 を認定されている形となっており、卒業後の負担が大きくなる状況が生じています。</p> <p>国家資格取得を主眼としたカリキュラムの中でトヨタ技術検定との両立が困難であれば、技術検定未取得で卒業に至ってもやむなしとも考えます。TEAM-GP 履修の運用について今後どのように進められる予定かお聞かせください。</p>	<p>取得に向けてトヨタ自動車からの提示されている条件に基づき教育を行っております。</p>

【中項目】4-15 卒業生の社会的評価

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	卒業生の頑張りや、昇進・昇格情報を在校生にフィードバックし、学生指導に活かす。また、当校の教育の至らない点などは教育改善に反映させる	<ul style="list-style-type: none"> ◆教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会の学外委員より卒業生の評価を確認している。 ◆卒業生の技術コンクール出場等の活躍事例を在校生に紹介している。 ◆就職先に対し定期的（4年毎）に卒業生の役職等調査を実施している。 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程編成委員会議事録 ・学校関係者評価委員会議事録 ・卒業生の役職等の調査結果

特記事項

◆全国トヨタサービス技術コンクールへ出場した卒業生数

- ・2018年度 トヨペット店7名、ネッツ店7名
- ・2019年度 地区大会のみの開催
- ・2020年度 新型コロナにより延期
- ・2021年度 全チャンネルで11名
- ・2022年度 開催なし
- ・2023年度 地区大会のみの開催（ダイハツ全国大会3名、L&F全国大会2名）

最終更新日付	2023年10月10日	記載責任者	教育部	谷川
--------	-------------	-------	-----	----

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
特になし	特になし

基準5 学生支援

【中項目】5-16 就職等進路

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	学生の適性に応じた就職先に就職できるよう、支援・指導する体制を整える	<ul style="list-style-type: none"> ◆就職支援グループおよび担当が、学生の志望状況の把握および、就職先選択へのアドバイスを実施している。 ◆就職活動に不安を感じる学生に対しては、管理職による個別指導体制をとっている。 ◆就職試験不合格の学生には、次の進路情報を迅速に紹介し、面接指導を行っている。 ◆企業にお願いし、離職者数・平均勤続年数・年休取得数など労働実態も積極的に開示して、就職活動支援に活用している。 ◆留学生の就職支援については、留学生専任スタッフを中心に担任および就職担当、管理職が連携して支援を実施している。 	<p>・4-13 就職率と同様</p> <p>(就職意欲が低く、社会人としてのマナーや行動が伴わない学生の不合格事例が数件あった。就職意欲の低い学生への個別支援を見直す。)</p>	<p>・就職希望調査結果</p>

特記事項

- ◆第1希望内定率（卒業年度）
 ・2023年度 94.0%、2022年度 94.3%、2021年度 93.8%、2020年度 93.8%

最終更新日付	2023年10月10日	記載責任者	教育部	谷川
--------	-------------	-------	-----	----

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
就職意欲が低い理由は何ですか？分析と対策は？	4-13 就職率と同様

【中項目】5-17 中途退学への対応

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-17-1 退学率の低減が図られているか	入学した学生は責任を持って教育し、全員の卒業を目指す 退学を最小限に留めるような教育を実践していく	<ul style="list-style-type: none"> ◆退学を最小限に留めるよう、以下の施策を実施している。 ・入学直後から学生間で親睦を深める行事を設定し楽しく学べる環境づくり ・挨拶や受講姿勢の指導を徹底し風紀の乱れを作らない環境づくり ・担任面談を通じた教員との良い関係づくり ・成績不振者のための放課後勉強会の開催 ・担任による保護者への密な電話連絡と書簡送付 ・保護者会での保護者との面談 ・カウンセラー・保健室でのメンタルケア 	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生の中途退学率は減少傾向にあるものの、自動車整備科の退学率が増加傾向である。 ・退学理由に多い「学力不振」に対応するため、成績別クラスで授業実施に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・退学願い ・退学の経緯 ・個別勉強会対象者リスト ・担任指導記録 ・保護者会案内

特記事項

・退学率…＜各学科の修業期間における退学者数＞／＜入学時在籍者数（留年者・転科者除く）＞

年度	2019年度卒	2020年度卒	2021年度卒	2022年度卒	2023/10月末時点	＜参考＞ 国際科1期生39名の内 1年次2名退学（'20） 2年次5名退学（'21） 3年次0名（'22） 国際科2期生81名の内 1年次4名退学（'21） 2年次1名（'22） 3年次0名（'23） 国際科3期生37名の内 1年次2名退学（'22） 2年次1名（'23）
自動車整備科（%）	6.0	4.3	3.2	6.0	9.4	
高度自動車科（%）	6.5	4.3	5.7	7.1	4.9	
車体整備科（編入生のみ）（%）	0	0	0	0	0	
国際自動車整備科（%）	-	-	-	17.9	6.2	
ショールームスタッフ科（%）	-	0	0	0	0	

最終更新日付	2023年10月13日	記載責任者	教育部	為則
--------	-------------	-------	-----	----

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
<p>自動車整備科の退学率が相当高い水準にあるように見えるが、姉妹校の水準は？また、原因はどのようなところにあるとお考えでしょうか。</p> <p>（「学力不振」が退学理由の上位とのことですが、入学試験時の学力との関連性はどの程度認められるか？）</p> <p>近年周囲と広い人間関係を構築することを嫌う、本業以外での接点を求めない、という若年層が増加していると感じています。「学生間の親睦を深める機会を設定し、楽しく学べる環境づくり」は学生側から好意的な受け止めとなっているでしょうか？参考にお聞かせください。</p>	<p>姉妹校も 2023 年度卒業の現 2 年生は例年と異なるようです。コロナ禍の影響か授業や学校生活に馴染めない学生が増えている可能性があるかもしれないと考えます。</p> <p>親睦を深める機会の学生満足度（5 段階）は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カート大会 1 年生 4.7 ・スポーツ大会 1 年生 4.5 2 年生 4.1 ・学園祭 全学生 4.3

【中項目】5-18 学生相談

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-18-1-1 学生相談に関する体制を整備しているか	教員が学生の悩みを早期に把握し、相談に乗る体制を整える。	◆担任は役割として学生の個別相談に対応することとしている。 ・個別面談は年2回以上実施 ◆いじめ把握のアンケートを年2回実施している。	なし	・担任指導記録 ・メール相談窓口案内 ・いじめアンケート結果
5-18-1-2 学生相談に関する体制を整備しているか	教員以外に気軽に相談できる体制を整える。	◆メンタルケアに関しては保健室及び相談室（カウンセラー（臨床心理士））を設置している。 ◆学生相談に総括的に対応できるよう学生生活支援センターを設置している。	なし	なし
5-18-2-1 留学生に対する相談体制を整備しているか	留学生に対して特別に相談できる体制を整える	◆留学生専任スタッフを配置し、生活相談・困りごとに対応している。 ◆国際科の教員も相談対応を行うようにしている。	増加する留学生へのサポート体制の充実を図る。	なし
5-18-2-2 入学検討の留学生に対する相談体制を整備しているか	入学検討の留学生に対して、出願資格や必要書類、入学後の勉強等について、相談ができる体制を整える。	◆外国人スタッフ、留学生担当を置き相談対応している。	なし	なし

特記事項

- ・看護師1名が常勤で保健室に勤務している
- ・カウンセラーは非常勤で週2回午後、保健室に常駐している。（必要な場合は別途相談室で面談）
- ・留学生数(期首) 2023：176人 2022：204人 2021:172人 2020：97人 2019：42人、2018：11人

最終更新日付	2023年10月17日	記載責任者	教育部	為則
	2023年10月17日		学生部	高井
	2023年10月12日		総務部	秋山/北村

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
<p>「いじめ」や「メンタルケア」以外にも、「ハラスメント」や「コンプライアンス」についても対応をお願いしたい。</p> <p>「増加する留学生へのサポート体制の充実を図る。」とは、いつまでにどのようなことを実施されるのですか？</p>	<p>ハラスメントは「いじめ把握のアンケート」に含めて調査するようにしています。</p> <p>コンプライアンスについては、学校生活での懲戒事例、SNSの注意点を展開、警察からの講演として「闇バイト・薬物」を実施。</p> <p>2024年度より日本語教員1名増員 勉強、生活、就職、経済面の相談を受けている</p>
<p>カウンセラーの出勤体制について、外国人スタッフの人数と国籍について確認させて下さい。</p>	<p>カウンセラーは週2回午後勤務。 外国人スタッフは3名（ベトナム2名、ミャンマー1名）</p>

【中項目】5-19 学生生活

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	学生・寮生の負担を軽減する措置を講じる。また、就学が困難となった場合においても学業継続できるように個別対応を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ◆神戸市助成金（ふるさと納税）と学校資金を基に経済困窮者に加え学業優秀等の学生に対しても「留学生支援制度」として、24年度より支援していく。 ◆販売店に奨学金制度の設置をお願いすることで支援体制の充実を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税の支援者のさらなる拡充を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生募集要項 ・学費（寮費）延納・分納許可願い
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	学校保健安全法に基づき学生の健康管理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ◆保健室に学校医・看護師、相談室にカウンセラーを配置している。 ◆定期健康診断の他、心身の健康管理についての対応を適宜学生に行っている。 	なし	
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	遠隔地から就学してくる学生のために学生寮を設置する。また学生食堂を設置して学生の健康管理に配慮した食事提供を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ◆432室（含む女子10室）の寮を敷地内に併設している。 ◆寮監が常駐・宿直勤務（一部委託）しており快適な寮生活ができる体制を整えている。 ◆学生食堂を設置しており、寮生は朝昼夕3食喫食できる。健康増進法に基づく特定給食施設として栄養管理を行っており、保健室とも連携し肥満改善など寮生の健康課題にも取り組んでいる。 ◆留学生増に対応し専用フロアを設置した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生にも選んでもらえる魅力的な寮の環境づくり ・食堂利用者の減と原材料、人件費の高騰により食堂の経営支援を継続実施する。 	
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか（教育部）	学生が活発に活動できるようクラブ活動を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ◆クラブ事務局を置き、クラブ活動を支援（補助金、顧問）している。 ◆各クラブに積極的な対外試合参加を推奨している。 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブ活動報告書

特記事項

- ・ふるさと納税での支援実績（9人 36.5万円）
- ・指定校特別推薦合格（寮費支援）31人（2023年度入学）
- ・販売店奨学金制度 設置販売店数67社（うち留学生向け13社）
- ・在寮留学生数：2023年度 45名
- ・クラブ数：2023年度 14（昨年14）、部員数：189名（昨年268名）参加率24.3%（昨年31.2%）

最終更新日付	2023年10月12日	記載責任者	総務部	秋山/北村
最終更新日付	2023年10月18日	記載責任者	教育部	為則

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
<p>クラブ活動の部員数が大幅に減っている理由は、コロナ禍だったこと以外にありますか？</p>	<p>2023年度の部員数に新入生がカウントされていないクラブがありました。 2023年度 287名／778名（36.9%） 2022年度 268名／859名（31.2%） モータースポーツ系のクラブや同好会に所属している学生が増加しています。（カート部、ミニ四駆部、モータースポーツ同好会、eスポーツ同好会）</p>
<p>学生食堂では、留学生用の食事にも対応していますか？</p>	<p>豚肉、牛肉のメニュー表記を実施しています。 次年度の朝食はバイキングで対応します。</p>
<p>販売店の奨学金制度の活用状況をお聞かせください。 食堂利用者の減に対する対策として実施されている学生への食券の配布による効果はどの程度ありましたか？学校が負担して食堂の経営支援を続ける以外の対策の検討はありますか？また、昨年度食堂運営支援（売り上げ増）のため、朝食費を寮費に含むといった施策を検討するとありましたが、現状をお聞かせください。</p>	<p>2023年度入学生企業の奨学金利用者 55名（利用率 28.2%） 2024年度入寮生から朝食付きにします。 普段食堂利用をしない学生の利用促進につながらず、24年度は見直し。新規メニューの掲示等工夫をしています。</p>
<p>各科の定員数の変更をみても今後留学生の数を増やしていくよう募集活動をされると思うのですが、そうした場合クラブ活動に関しては部員数が減り、活動が衰退していくと予想されます。そうならないように今から対策の検討が必要かと思えます。</p>	<p>モータースポーツ系のクラブや同好会が充実してきており、留学生にも楽しさを伝えていきます。</p>

【中項目】5-20 保護者との連携

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	効果的な教育を展開するには保護者の支援が有効であり、保護者との連携を深める	<ul style="list-style-type: none"> ◆保護者に年2回、学生の成績表を送付している。 ◆必要に応じ保護者と電話連絡、面談を実施している。 ◆2015年度から1年生の保護者会を毎年実施している。2020年度からは電話もしくはオンラインでの担任面談、2021年度からはクラスごとの授業風景のネット配信も行っている。 ◆保護者会に参加出来なかった方に対して、当日の保護者会動画のネット配信を行っている。 	・なし	<ul style="list-style-type: none"> ・成績書発送書簡 ・保護者会案内 ・保護者会報告書

特記事項

・保護者会（新入生対象 留学生除き）の参加状況

年度	実施形式	対象学生数	参加組数	参加率 (%)	面談組数	面談率 (%)
2019年度	対面	258	157	60.9	143	55.4
2020年度	オンライン	213	-	-	79	37.1
2021年度	オンライン	252	-	-	90	35.7
2022年度	対面・オンライン	230	127	55.2	114	49.6
2023年度	対面・オンライン	194	117	60.3	121	62.4

(算出方法)

参加率 = 参加組数 / 対象学生数

面談率 = 面談組数 / 対象学生数

最終更新日付	2023年10月18日	記載責任者	教育部	為則
--------	-------------	-------	-----	----

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
<p>保護者会参加率が 60.3%に達していることは対面・オンラインの併用等、様々な取り組みの上で達した素晴らしい数字だと感じます。</p> <p>一方で集計結果が留学生除きとなっていますが、母国を離れ不安な環境下で過ごしている留学生、そのご家族への対応は検討されていますか？</p> <p>同様に保護者会を実施されているのであれば、言語面の対応等について参考にご教授下さい。</p>	<p>母国で学校の様子が確認できるよう Facebook での保護者会の結果報告や、日本語学校の先生への案内を検討しています。</p>

【中項目】5-21 卒業生・社会人

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	当校卒業後も卒業生に対し、必要な支援体制を整え、学校情報提供や支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ◆学校新聞を作成し、同窓会を通じて配布している。 ◆卒業生相談窓口を設置・案内し、卒業後の悩みごとを聞く体制を整えている。 ◆卒業後3年間、LINEで近況伺いをし、悩みごとの把握・対応を行っている。 ◆国家資格不合格の卒業生に学習支援をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・LINEグループでの近況伺いは、個人情報が開示されるため、LINEオープンチャットによるグループ作成への変更を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校新聞 ・学校ホームページの相談窓口案内 ・LINEでの近況伺い
5-21-2 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	社会人や企業に対して、状況に沿った修学支援、学習支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ◆社会人が入学した場合に学費の60%が補助される「専門実践教育訓練講座」（厚生労働省）の指定を2017年度に受けており、HPにて案内している。 ◆販売店の高卒新人向けに国家3級取得研修を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用件数少ない為、社会人入学生増に向け積極的PRを図る。 	

特記事項

最終更新日付	2023年10月18日	記載責任者	教育部	為則
--------	-------------	-------	-----	----

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
<p>学校新聞の発行頻度はどれくらいですか。 社会人の入学実績について・販売会社高卒新人向けの国家3級取得研修の実績を教えてください。</p>	<p>学校新聞：年2回発行（7月、12月） 社会人入学実績 （専門実践教育訓練講座利用）：2023年度生2名 2022年度生3名 2021年度生1名 国家3級研修：2023年度8名受講8名合格 2021年度7名受講7名合格 2020年度5名受講4名合格</p>
<p>卒業後3年間、LINEで近況伺いをし、悩みごとの把握・対応を行っているとのことですが、相談件数はどの程度ですか？ また、卒業後のLINEでの近況伺いで連絡のつく卒業生の割合はどの程度ですか？近況報告を実施している教員の負荷も高いと思われるため、LINEのオープンチャットの使用など何らかの対策は必要と思われます。</p>	<p>返信率と悩みに類するコメント数 2023.3卒5月88.4%（0件）8月43.8%（3件） 2022.3卒5月62.0%（0件）8月29.8%（0件） 2021.3卒5月91.4%（1件）8月66.0%（5件） 何度かメッセージの督促をすると返信率は上がっています。 オープンチャットは電話番号が学生間で共有されないよう導入する予定です。</p>

基準 6 教育環境

【中項目】6-22 施設・設備等

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した設備・教材・教具等を整備しているか	法令等の基準を遵守し、教育上の必要性に十分対応し、かつ、学生が快適に学習・生活できる環境を整備し、維持管理を行う	<ul style="list-style-type: none"> ◆一種養成施設および認証工場の設置基準に基づき設備・教材・教具を揃えている。 ◆教育内容、学生数に対して十分な種類と数の設備・教材・教具を揃えている。 ◆技術の進化に対応した教材を計画的に導入している。 ◆教材維持管理のための仕組み・役割分担をつくり、確実に復元および更新計画を立てている。 ◆タブレットPC導入に伴い、学内全エリアに無線LAN環境を導入している。 ◆リフトの計画的な更新を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エキスパートエンジニア科及び高度科のコース制に併せ、必要教材の配備を計画的に進める。 ・2025年度入学生からの整備士資格制度変更に伴って必要となる教材の検討も進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一種養成施設変更届 ・認証工場変更届 ・資産棚卸しチェック表 ・教材管理マスター ・不具合教材調査票
6-22-2 教育設備以外にも学校として必要な施設・設備等を整備しているか		<ul style="list-style-type: none"> ◆施設・設備は計画的な更新、環境の維持管理を行っている。 ◆学科棟のエアコン更新、照明のLED化 	<ul style="list-style-type: none"> ・食堂及び寮のリノベーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・固定資産リスト

特記事項

教材更新	2021年度：車両（レクサスIS：7台、ダイナ：6台、GRスープラ：1台、JPN TAXI：1台） ツールスタンド：52台 2022年度：車両（10系AQUA：6台、80系NOAH：4台、レクサスLS：1台、LQ(BEV)：3台、20系MIRAI：1台、bZ4X(BEV)：1台、90系VOXY：1台） ベンチエンジン（3SZ-VE：24台）、ツールスタンド：56台、GTS用PC：26台 ラークリフト用スライドプレート：11基、エアコンプレッサー：2基、水性塗料用乾燥機：2台 2023年度：車両（210系カラーラ：6台、クラウンクロスオーバー：1台、90系ヴォクシー：1台、60系プリウス：1台、70系ランクル：2台、 ハリアーPHEV：1台、ハリアーHEV：2台） 250cc オートバイ：2台、125cc スクーター：2台、レーシングシミュレータ：1基、レース用アライメントテスター：1基 ツールスタンド：52台、アーム・プレート併用式リフト：6基、デジタルオシロスコープ：12台、異音検知器：1台
設備更新	2018年度：実習場にエアコンを設置 2021年度：留学生用のシャワーブース設置（学生寮） 2022年度：バイクの整備スペース設置

最終更新日付	2023年10月10日	記載責任者	教育部	谷川
	2023年10月12日		総務部	秋山/北村

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
特になし	特になし

【中項目】6-23 学外実習・インターンシップ等

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-23-1 学外研修、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	学外研修等において、関係機関と連携を取り、十分な成果が上がるよう教育体制・環境を整備する	<p>◆各学科、関係機関と連携を取り、以下のような研修を実施している。</p> <p><高度自動車科、自動車整備科、国際自動車整備科> 国1年：日本文化体験（京都太秦） 1年(国2年)：東京研修（モビリティショー） 2年(国3年)：インターンシップ(除く高)、東京研修 高3年：運転技術向上研修 高4年：インターンシップ、海外研修（アメリカ）</p> <p><ショールームスタッフ科> 1年：販売店ショールーム見学、名古屋研修 2年：インターンシップ、東京研修&富士モビリティ研修</p> <p><自動車整備・車体整備科> BP工場見学、インターンシップ</p>	<p>・経済的に学費支払いが困難な学生への対応をふまえ、それぞれの学外研修の在り方について検討する</p>	<p>・年間カリキュラム ・インターンシップ 依頼書簡 ・インターンシップ 受入連絡票</p>

特記事項

2023年度の変更内容 4年ぶりに高度科4年生の海外研修を実施

最終更新日付

2023年11月13日

記載責任者

教育部

満田

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
海外・国内研修の参加率はどれほどでしょうか。留学生を含め、費用負担を考え参加しない学生も多くいらっしゃいますか。	<p>基本全員参加で研修を実施していますが、経済的理由で参加しなかった数は以下のとおりです。（多くが留学生です）</p> <p>高4年 海外研修 5名（参加率 93.8%） 2年 東京研修 52名（参加率 82.4%） 1年 東京研修 3名（参加率 98.7%）</p>

【中項目】6-24 防災（=2018 防災・安全管理を分割）

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	法令に基づき体制を整備し防火防災に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ◆防火・防災管理体制を整備し日常の管理を行っている。 ◆職場防災隊を組織し、消防訓練及び防災訓練を各1回/年実施している。 (2018より消防、防災訓練を同日に実施) ◆オープンキャンパスなど休日出勤時に災害が発生した場合に対応できるようマニュアルを整備し、防災監視盤に掲示している。 ◆地震発生時の初動マニュアルを整備し、防災監視盤に掲示している。 ◆防災監視盤の更新を行い、休日夜間でも自動放送ができる設備を導入した。 ◆防災訓練に合わせて連絡網の運用訓練を実施した。 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・防火・防災管理者選任届、 ・消防計画届、自衛消防組織設置届 ・自衛消防訓練届

特記事項

- ・防災計画に基づく災害を想定した避難訓練の実施（2009年6月消防法改正）
（火災想定消防訓練を5月、地震想定防災訓練10月に実施していたが、2018より5月に1日で実施。但し2020年度はコロナのため延期し10月に実施）
- ・2020年10月、2022年10月の訓練では、休日出勤時の対応を想定し、総務部に代わり学生部が主体となって訓練を実施。
- ・2023年度 安否確認訓練返信率100%（学生職員）前年85.2%

最終更新日付	2023年10月12日	記載責任者	総務部/教育部	秋山・北村
--------	-------------	-------	---------	-------

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
安否確認訓練の返信率改善は評価できます。 学生・職員への重要性の説明を継続ください。	特になし

【中項目】6-25 安全管理 (≒H30 防災・安全管理を分割)

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-25-1 学内における安全管理体制を整備し適切に運用しているか	・安全管理者を選任、安全計画の作成・実施・安全衛生環境委員会を設置し、学校全体の安全対策を講じる。	◆安全管理者を選任し巡視を1回/月行い、安全作業の環境を維持、向上に努めている。 ◆安全衛生環境委員会を1回/月開催し、安全計画の実施進捗管理を行っている。	なし	・安全管理者選任届 ・安全衛生環境委員会議事録 ・職員まるごとハンドブック
6-25-2 授業等において学生に関する安全管理体制を整備し適切に運用しているか	学生に対して安全に授業を進めるための環境を整え、安全作業を徹底する	◆作業安全に関しては以下の教育を行っている。 ・導入教育での基礎的な安全教育 ・各実習授業ごとの安全作業の教育 ・定期的な各実習作業の安全見回り点検を実施 ◆2018年より「安全が最優先」をスローガンに「安全の基本5行動」の徹底を図っている。 また、事例に基づく危険予知教育も実施	安全作業教育の啓蒙を継続し、学生の重大事故を防止する	・4S巡回点検記録簿 ・作業注意事項引継ぎファイル

特記事項

・2023年度4～9月の授業中のケガ1件(2022年度1件、2021年度1件、2020年度1件、2019年度3件)

最終更新日付	2023年10月10日	記載責任者	教育部	谷川・為則
--------	-------------	-------	-----	-------

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
今年、リフト操作における安全啓蒙動画を展開させていただいたが、いつ頃から活用されるのでしょうか？	リフト安全啓蒙は2年後期I定期点検授業にて全クラスに動画を活用し展開しています。
本年度の授業中のケガとは、どのように発生したのでしょうか	ブレーキクリーナーにノズルを取り付けた際に誤って噴射させ、液が目に入ってしまう事故がありました。作業時は保護メガネを掛けるよう指導していますが、片付けでの事故のため保護メガネを着用していませんでした。 ケガの真因を追求し対策を考えていきます。
実習におけるKYTを常に取り入れていただきたい。(例：実習開始前に5分でもいいので、考えさせ、知識を付けさせる) 危険に対する知識不足による怪我が多い為。	実習授業では当該作業開始前に過去のヒヤリハットを紹介し、注意を促しています。自ら考えるKYTについては全学科、全学年を対象に年5回実施しています。できるだけデイリーに意識させられるよう工夫します。

基準 7 学生の募集と受け入れ

【中項目】 7-25 学生募集活動

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	対象者が在籍する教育機関に情報を開示、提供し、当校理解の促進を図る	<ul style="list-style-type: none"> ◆以下事項にて情報提供に取り組んでいる。 ・学校 H/P を適宜メンテナンスし学校案内、入試要項を公開 ・「学校案内」を高校、日本語学校へ配布 ・高校、日本語学校訪問活動にて情報提供 ・高校進学相談会参画 	なし	・「学校案内一式」
7-25-2 学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	入学定員を満たすべく、学校活動の内容を紹介する機会（オープンキャンパス）等を通じ、事実に基づく広報活動を展開する。	<ul style="list-style-type: none"> ◆適切かつ効果的な広報活動を目指し、広報に関わる費用、ツール、施策を年度ごとに見直しを行っている。 ◆WEB 認知活動の充実（リスティング広告、ターゲティング・リターゲティング広告、H/P ポップアップ） ◆SNS の更新頻度を高め、学校情報の発信に努めている。 	学校の強み・特徴を整理し、学校 H/P・パンフレットの刷新を行う	・「学校案内一式」

特記事項

新入学生／定員

- ・2021 年度生：361 名/400 名（内、日本人 254 名・留学生 107 名）
- ・2022 年度生：284 名/410 名（内、日本人 228 名・留学生 56 名）
- ・2023 年度生：238 名/410 名（内、日本人 195 名・留学生 43 名）

最終更新日付	2023 年 10 月 17 日	記載責任者	学生部	高井
--------	------------------	-------	-----	----

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
<p>なかなか取り組みが成果に表れていない状況ですが、より効果的な募集活動となるための現状分析と対応方法について、計画があれば教えてください。</p> <p>⇒「外部コンサルを活用した広報活動・募集活動の検討・実施」に取り組んでいるのでは？</p>	<p>10月より外部コンサルの支援を受け、次年度の募集戦略を策定。2月より実行に移す。</p>
<p>コロナ禍に起因する全体的な留学生自体の減少の影響で留学生の入学者が減少している中、日本人新入学生も大きく減少しているが、対策は充分ですか？</p> <p>また、留学生減少への対策状況と、来年度以降の見込みをお聞かせください。</p>	<p>2025年度生に向けて日本人募集は外部コンサルの支援を受け募集改善を図る。留学生はコロナ禍を終え2024年度生の入学者確保は順調。</p> <p>2025年度生も現状維持の見込み。</p>

【中項目】7-26 入学選考

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	入学選考基準を規定で明確に定め、入学試験要項上に記載し適切に運用する	<ul style="list-style-type: none"> ◆入学選考基準（編入学も含む）に基づき入学試験を適切に実施している。 ◆環境の変化に即し、入試区分の整備とそれに合わせた選考基準、入試形態の見直しを行っている。 ◆2023年度入試より留学生の指定校推薦制度を開始。 	なし	・学生募集要項
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	入学選考に関する実績情報を正確に管理し、入学後の授業運営や、財務計画策定等に反映する。	<ul style="list-style-type: none"> ◆学科ごとの合格数、辞退数を管理し総務部へ連絡⇒財務計画、予算立案へ反映している。 ◆入学者の入試成績を踏まえ、教育部にて入学前フォローに活用している。 	なし	・入試まとめ

特記事項

なし

最終更新日付

2023年10月17日

記載責任者

学生部

高井

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
「2023年度入試より留学生の指定校推薦制度」について教えてください	優秀な留学生（日本語能力・人物）を輩出する実績校に対し、指定校推薦枠を新設。 日本語能力と出席率などの推薦基準を設け面接試験で合否を実施。
入学定員を満たすこと自体は経営の視点で非常に重要だと理解しますが、学力低迷者へのフォローにかなりの工数をかけていると聞いています。 また、何とか卒業したとしても、就職先で長続きしないことも考えられます。 トヨタ直営校としてのブランド維持のため、選考基準について見直しの検討は必要ないでしょうか？退学率の上昇とも関連している問題ではないかと考えます。	見直しを検討しましたが、良案が見つからず次年度の選考基準の見直しは行いません。今後の継続課題と認識しております。

【中項目】7-27 学納金

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-27-1 学納金は環境の変化に併せ適宜見直しを行っているか	学校の収支、他校の状況を勘案し決定する。	<ul style="list-style-type: none"> ◆経費削減に取り組み学費・寮費及び預り金の低減努力を行っている。 ◆物価上昇、光熱費上昇などに伴い24年度より学費の改定を行う。 	・引き続き預り金制度の見直しを検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学生募集要項 ・予算書、決算書
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	文部科学省通達に基づき適正に取扱う	◆3月末までに辞退の申し出があった場合は入学金以外全額を返金している。	なし	・学則

特記事項

- 2019年度入学生より自動車整備科（2年）・高度自動車科（4年）の学費改定（2007年度以来の改定）
- 2019年度開設 ・ショールームスタッフ科（2年） ・車体整備専攻科（1年）
- 2019年後期より消費増税（8⇒10%）に伴い全学科・学年とも学費改定
- 2020年度開設 ・国際自動車整備科（3年）
- 2022年度開設 ・自動車整備・車体整備科（3年）（車体整備専攻科（1年）を廃止）
- ※各学科とも学納金は募集要項（HP）に掲載
- 2023年度より寮費の改定を行う。（寮預り金を廃止し管理費として徴収）

最終更新日付	2023年10月12日	記載責任者	総務部	秋山・北村
--------	-------------	-------	-----	-------

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
特になし	特になし

基準 8 財務

【中項目】8-28 財務基盤

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・定員確保に努め、単年度収支黒字の維持に努める。 ・中長期的に必要となる施設設備に必要な資金を留保する。 ・資金は安全確実な運用を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ◆中長期的に必要な資金は留保できており、安全な社債等で運用している。 ◆2023、24年度の収支は赤字の見込みであるが、25年度は回復の見込み。 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・財産目録 ・貸借対照表 ・事業活動収支予算・決算書 ・資金収支予算・決算書
8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	適切な財務運営を行うために、収支状況、財産目録、貸借対照表などについて、分析を行う	◆毎月、月次決算で予算の執行状況・実績の対前年増減など報告し主要な財務数値について適宜分析を行っている。	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・（月次）事業活動収支計算書 ・資金収支計算書 ・貸借対照表 ・日本私立学校・共済事業団の財務集計/分析資料

特記事項

・28年度より学校会計基準変更(消費収支計算書⇒事業活動収支計算書)。

最終更新日付	2023年10月12日	記載責任者	総務部	秋山・北村
--------	-------------	-------	-----	-------

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
<p>2023、24年度の単年度収支が赤字となる見込み、とのことですが、新学科立ち上げに伴う教材導入や、その他設備更新（エアコン、照明、リフト等）によるものでしょうか？</p> <p>・また、2025年度以降の収支改善は、定員充足率が低下傾向にある中で、どの程度の定員充足率（または学費値上げ）で試算されていますか？</p>	<p>大規模修繕改修、設備更新を行う予定です。 新学科開設、国際科の定員増、24年度からの学費改定、25年度在籍者見込み830名から25年度黒字化を計画しています。</p>
<p>「2023・24年度は赤字→25年度回復見込み」とした根拠をご提示ください。</p>	<p>同上</p>

【中項目】8-29 予算・収支計画

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	単年度ごとに事業計画・予算を立案する。	◆部門毎に事業計画案と年度予算案を立案し、全校で調整を行っている。 ◆中期計画は、必要なものは予定表を作成・更新し、これに基づき毎年事業計画・予算立案を行っている。	なし	・部門別予算立案書 ・施設設備改善5か年計画 ・事業計画・予算書
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	予算は計画に従って執行する。 月次・中間決算により予算/実績の進捗を適正に管理する。	◆毎月、月次決算で予算の執行状況・実績の対前年増減など確認し、予算計画に従って執行できているか確認している。予算外の案件が生じた場合は寄附行為等に従って適正に執行管理を行っている。	なし	・月次決算書

特記事項

最終更新日付

2023年10月12日

記載責任者

総務部

秋山・北村

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
特になし	特になし

【中項目】8-30 監査

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	ウ 現状評価	エ 課題と解決方向	オ ウの参照資料等
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	監事及び公認会計士による監査を実施する	<ul style="list-style-type: none"> ◆監事に中間・期末決算と事業報告を行い監査を受けている。 ◆公認会計士による監査を1回/年実施している。 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・監事の監査報告書 ・会計士監査報告書、

特記事項

特記事項

最終更新日付	2023年10月12日	記載責任者	総務部	秋山・北村
--------	-------------	-------	-----	-------

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
特になし	特になし

【中項目】8-31 財務情報の公開

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-31-1 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか	法令通りに対応し公開を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ◆私立学校法に定める財務情報公開基準に基づき利害関係者が財務諸表を閲覧できる体制は整備している。 ◆職業実践専門課程、高等教育学費支援制度の要件に即して決算書を学校 HP にて公開している。 	なし	・学校 HP（情報公開）

特記事項

- ・2015年度 職業実践専門課程認定（自動車整備科・高度自動車科）
- ・2019年度 高等教育学費修学支援制度対象校

最終更新日付	2023年10月12日	記載責任者	総務部	秋山・北村
--------	-------------	-------	-----	-------

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
特になし	特になし

基準 9 法令の遵守

【中項目】9-32 関係法令・設置基準等の遵守

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-32-1-1 一種養成施設、認証工場の法令・専修学校設置基準等を遵守しているか。	<ul style="list-style-type: none"> 関係所轄、業界各団体・企業、高校、保護者等社会からの信頼を得るよう法令を遵守する。 教職員に対し、法令遵守教育を実施し徹底する。 	◆一種養成施設、認証工場の法令や専修学校設置基準に対して、設備・教育時間数・教員数など、必要要件を満たして運用を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年8月28日に新たな自動車整備士技能検定規則の細目について通達があったため、その基準にあった実習設備、教育時間への変更を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 一種養成施設変更届 認証工場変更届 学科の設置および収容人数変更に係わる学則変更届
9-32-1-2 法令・専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか		◆各部で法令遵守状況及び届出実施状況を点検した。 ※毎年度3月実施	なし	<ul style="list-style-type: none"> 遵守しなければならない法律・行政機関への届出状況調査票（2023年実施）
9-32-2 学校が保有する個人情報に法の主旨に則り管理しているか	個人情報の漏洩は社会からの信用を失うことになるため、慎重に取り扱う必要がある。そのため規程を定め、適切に運用していく。	<ul style="list-style-type: none"> ◆個人情報保護規定を策定し、法令に従い個人情報保護に努めている。 ◆外部に個人情報保護方針を公表している。 ◆各部で取り扱う個人情報データは、個人情報目録を整備して管理している。 ◆委託業者とは個人情報取り扱いに関する覚書を締結している。 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ◆個人情報保護に関する規程 ◆個人情報目録

特記事項

- ・2015年 マイナンバー法施行対応
- ・2020年 電子制御装置整備の特定整備事業の認証取得

最終更新日付	2023年10月10日	記載責任者	教育部	谷川
	2023年10月12日		総務部	秋山・北村
	2023年10月17日		学生部	高井

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
<p>学生が個人情報保護法について学ぶカリキュラムはありますか。</p>	<p>高度自動車科：3年次取得のビジネス能力検定2級で、情報セキュリティに関連して出題されるため用語として知っている程度 ショールームスタッフ科：1年の業務知識の授業で「営業スタッフ読本」に記載されている内容を授業で実施 自動車整備科は学ぶ機会がありません JAMCA 提唱のコンプライアンス教育カリキュラム内で取り入れる予定です。</p>

【中項目】9-33 学校評価

《自己点検・自己評価結果》

元「9-33 個人情報」を「9-32 関係法令、設置基準の遵守」に統合したため、学校評価を9-34 から9-33 に繰り上げ

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	実施に係る組織体制を整備し、文部科学省のガイドラインに則して、毎年度実施する。	◆毎年度実施している。 ◆当校の実態に即した評価を実施するため、必要に応じて評価項目の内容を追加・変更・削除する。	なし	・自己点検自己評価報告書
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	ホームページに掲載し公表する	◆毎年度公表している。(7月更新)	なし	・学校HP
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	委員会を設置して、毎年度実施する。	◆毎年度実施している。	なし	・学校関係者評価報告書
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	ホームページに掲載し公表する	◆毎年度公表している。(7月更新)	なし	・学校HP

特記事項

- ・専修学校は、教育活動その他の学校運営の状況について、自ら評価を行い、その結果を公表するものとする(学校教育法施行規則第66条、第189条)
- ・専修学校は自己評価の結果を踏まえた関係者による評価を行い、その結果を公表するよう努めるものとする。(学校教育法施行規則第67条、189条)
- ・職業実践専門課程の認定要件の1つに企業等と連携して学校関係者評価委員会を設置し、評価を実施・公開するよう定められている。

最終更新日付	2023年10月12日	記載責任者	総務部	秋山・北村
---------------	-------------	--------------	-----	-------

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
特になし	特になし

【中項目】9-34 教育情報の公開

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	ウ 現状評価	エ 課題と解決方向	オ ウの参照資料等
9-34-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか。	学生、保護者、関連業界等広く社会に教育情報を公開する。	<ul style="list-style-type: none"> ◆学科学年ごとにシラバスを作成、期初に学生ポータルサイトに掲載し学生へ展開している。また、学校ホームページにも公開している。 ◆学校案内パンフレットや学校ホームページで学校概要・教育内容・教員等を公開している。 ◆新入学生保護者向けに、教育方針、教育内容、担当教員などを記載した書簡を送付している。 ◆2015年度より情報公開や保護者への教育内容理解のため新入学生向け保護者会を実施している。 ◆各種教育情報については、保護者・学生向けオンライン連絡ツールを用いて、提供している ◆自己点検自己評価、学校関係者評価の結果や学校運営情報をホームページで公開している。 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・シラバス ・新入学者向け保護者会案内書簡、開催後アンケート ・保護者宛て書簡 ・学校案内、学校ホームページ ・さくら連絡網 ・学生ポータルサイト

特記事項

なし

最終更新日付

2023年10月10日

記載責任者

教育部

谷川

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
特になし	特になし

基準 10 社会貢献・地域貢献

【中項目】10-35 社会貢献・地域貢献

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-35-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	社会・地域貢献の観点から可能な範囲で実施する	◆学園祭で地域の方に参加していただけるようなイベントを企画し、実施している。	なし	・学園祭パンフレット
		◆高校に出向き、進路相談会や出張授業に参画し、生徒の進路選択に貢献している。	なし	
		◆地域住民、近隣学校の体育授業にテニスコートを貸し出している。 ◆2014年度より地域の少年野球チームにグラウンドを貸し出している。 ◆近隣中学生のトライやるウィーク（職業体験）を受け入れている。	なし	
10-35-2 国際交流に取り組んでいるか	留学生の入学を積極的に受け入れ、資格取得、就職を果たさせることで国際貢献する	◆留学生の積極的な受け入れに取り組み、奨学金制度（納付金の一部免除）も導入している。また、日本語教育の充実のために日本語教師資格を持った教員を配備している。 ◆留学生の国家資格取得・就職は、日本人同様の実績を残している。 ◆留学生本国のトヨタへの就職も斡旋している。 ◆2019年度より、留学生専任スタッフを配備し、担任および各部署と連携しながら、留学生の生活支援および就職支援を行っている。 ◆2020年度より、3年制課程「国際自動車整備科」を開設し、留学生にとって入学しやすい学費・教育形態の学科を提供している。	なし	
10-35-3 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	学生に社会性を育む教育の一環として、ボランティア活動を奨励していく。	◆学校内での献血活動（2回／年）を実施している。 ◆寮生は地域清掃活動へ参加している。 ◆学生による近隣の清掃活動を実施している（2回／月）	なし	

特記事項

- ・グラウンド、テニスコート2面（うち1面はフットサル兼用）あり
- ・テニスコートは平日、近隣住民に貸出をしている
- ・2021.1～11月実績 107校の高校の進路相談会に参画
- ・2023年度献血活動実績（ ）内は昨年実績
学生、職員等：342名（310名）
- ・2023年度トライやるウィーク受け入れ実績：6名
（太山寺中学2名、伊川谷中学2名、鷹取中学2名）
- ・2023年度の学園祭は、従来規模に戻して、地域の方も参加できるイベントを実施（572名来場）

最終更新日付	2023年10月21日	記載責任者	教育部	谷川
	2023年10月12日		総務部	秋山/北村
	2023年10月17日		学生部	高井

《学校関係者評価》

委員からの意見等	学校側コメント等
特になし	特になし

【その他の意見・要望】

特になし